

ヨシダエルシス株式会社



会社紹介

信念は「養鶏業者のための機械器具を製造する」こと
採卵養鶏器具専門メーカーとして第一次産業を支える



工場長 芝崎 順夫

創業は養鶏業を営んでいた初代が、昭和33年に日本で初めて配餌方式による手押し給餌機を開発したことが始まり。以来、採卵養鶏器具専門メーカーとして、破卵を抑えた集卵装置+バーコンベアシステム、猛暑に耐えるケージファン換気システム、常に20℃前後の冷水を供給できるドリンカー、多段飼育ケージ+鶏糞スクレーパーなど、多岐にわたる機械を製作・販売している。卵自体、リーズナブルで栄養バランスのとれたタンパク源であり、世界中で親しまれる食品の一つ。近年、海外メーカーや国内後発メーカーとの価格競争で差別化が求められ、ハイブリッドベンダー導入による「ワンストップ型ソリューション」の強化に踏み切った。

補助事業

2000軒を超える顧客とともに
新製品の開発・改良に心血を注ぐ

同社の強みは、採卵養鶏器具専門メーカーとして「養鶏業者のための機械器具を製造する」という信念のもと、新製品の開発と改良に心血を注いできたこと。全国に2000軒を超える顧客とともに、今日のシステムを完成させてきた。今回、ストロングポイントを強化するため、採卵養鶏器具を製造する上で最もオペレーションが複雑なプレス工程に、世界最高の高速・高精度曲げ加工の性能をもつプレス機「ハイブリッドドライブベンダー」を導入。従来、機械の原材料となる鉄板はすべてプレス加工を経て生産していたため、手作業による位置決め、目視による試し曲げ等がネックになっていた。同事業活用によるプレス機の購入で、生産性の向上および短納期を実現できる体制が整った。



成果

生産性の向上・短納期にプラス安全性
最新機器で支える養鶏家のたゆまぬ努力

今回のプレス機の導入で、生産性(D軸最大速度)は2倍以上向上、消費電力量は約20%低下、作動油量は約56.1%減少と、次々に目標を達成。また光線式停止装置などにより、安全性が向上し、さらにマルチタッチパネル装備により、操作性の向上も見込めるようになった。これにより、鶏舎建築と内部設備を組み合わせた総合プラント会社として、同社の強みである開発力と技術力を背景とした「ワンストップ型ソリューション」を強化。卵に一切触れることなく、鮮度と清潔を保ったまま出荷できる機械システムを、それぞれの顧客ニーズに応えながら、より早く安全に低コストで提案できるようになった。いつの時代も「卵が物価の優等生」といわれる理由は、昼夜を問わない養鶏家のたゆまぬ努力があってこそ。そんな第一次産業を支える日本のメーカーとして、これからも顧客とともに成長し、業界の発展、さらに広く社会に貢献することを目指して、着実に事業を発展させている。



今後の展開

日本メーカー最大の強みは
迅速・適確なアフターケア

「儲かる養鶏のための機械器具を…」という思いは、同社の信念として根底にあり続ける。海外メーカーおよび国内後発メーカーの参入が相次いでもそれは変わることなく、価格・納期においても差別化を図り、さらに誠実さをもって付加価値をつける。それが同社最大の強みでもある迅速で適確なアフターサービス。日本中どこにでも技術スタッフが駆けつけ、第一次産業を支え続けている。

会社概要

会社名	ヨシダエルシス株式会社
代表者	代表取締役 吉田 卓司
所在地	和歌山県御坊市藤田町吉田155
資本金	2,000万円
従業員数	84名
業種	畜産用資材および機械器具製造、鶏舎および倉庫等の建築
設立年月日	昭和40年2月1日(創業/昭和33年10月)
TEL	0738-22-2111
FAX	0738-22-8885
E-MAIL	info@yoshida-lsys.com
URL	http://www.yoshida-lsys.com